

プロジェクトマネジメント学会四国支部年次研究大会 開催報告

久米 洋介
株式会社 STNet

Report of the Symposium 2018 Shikoku Branch of the Society of Project Management

Yosuke Kume
STNet, Incorporated

1. 四国支部年次研究大会の報告

プロジェクトマネジメント学会四国支部では、平成 30 年 2 月 8 日 (木)、株式会社 DynaxT において四国支部総会を開催し、平成 29 年度事業報告・会計報告および、平成 30 年度事業計画・予算案を審議し、承認されました。四国支部総会に引き続き、第 16 回年次研究大会を開催いたしました。



年次研究大会の様子

四国支部年次研究大会

日時：平成 30 年 2 月 8 日 (木)

場所：株式会社 DynaxT

共催：香川大学工学部、香川大学社会連携・知的財産センター技術交流協力会

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネーター協会

年次研究大会には、プロダクトデザイナーであり、大同大学 情報学部 情報デザイン学科教授の井藤 隆志様をお招きし、基調講演をいただきました。

井藤様による基調講演のほか、会員から 2 件の研究発表がありました。その後のワークショップでは、「チームワーキングのための性格診断アンケート」を実施し、自己理解を深めました。

年次研究大会終了後は懇親会が開かれ、ここでも活発な意見交換をすることができました。

基調講演：

「オープンイノベーションによる新地場産業の創出」

井藤 隆志氏

(プロダクトデザイナー、大同大学 情報学部 情報デザイン学科 教授)

井藤氏は、プロダクトデザインを通じて地域の企業とイノベーションを起こす活動をされています。4 月からは香川大学創造工学部への着任も予定されており、井藤先生の活動の一端、例えば、岐阜県の瓦屋さんとコラボして、SC00 という電動車椅子の開発を行われた事例などをご紹介いただき、地域企業との交流の進め方などをご紹介いただきました。



井藤氏による基調講演

発表 1：

「プロジェクトを成功へと導けるリーダー (PL) の養成～教育だけでは習得できない、実践的プロマネ手法の習得と経験・ノウハウの蓄積～」

高橋 暢壮氏

(中央コンピューター株式会社)

プロジェクトを成功に導くための体制や仕組み作りなど、数々の施策を推進してきていても、不採算プロジェクトを根絶できない現状がある。一番の要因として、プロジェクトの数に比べ、一括開発等の知識・経験・ノウハウをもって実践できるリーダー（PL）が慢性的に不足していることが挙げられる。

長期的視点に立ち、真に実践力を備えたPLを養成する為、従来の教育・研修だけでなく、「実践を伴ったPL候補生の育成」、「経験・ノウハウを蓄積・展開できる仕組み作り」の観点から今後の取り組みについて発表していただきました。



高橋氏による発表

発表 2 :

「計装設備の遠隔監視システムのクラウド化とIoT化（ハードを含めたトータルシステムの納品に向けた経験）」

川上 裕介氏

(株式会社 DynaxT)

ある計装設備の遠隔監視システム、ISDN 経由のシリアル通信をインターネットに、アプリケーションを Web 系に、設備側の遠隔監視用制御盤もインテリジェントな中身に置き替えるいわゆる IoT化のプロジェクトが紆余曲折の末、期日通りにカットオーバーした。プロジェクトでは、想定外データによる不具合、不安定なデータ通信等の問題を乗り越え、いよいよ次の新しい設備を監視対象に追加したが、そこで目にしたのは、高電圧・高電流でサーバ機が壊れる等、予想を超える計装設備の現場でした。計装設備の現場の実体験を交えながら、現地作業を行う際の実施した対策等について発表していただきました。



川上氏による発表

ワークショップ :

テーマ「チームワーキングのための性格診断アンケート」

杉本 洋一氏

(香川大学 キャリア支援センター副センター長・客員教授)

香川大学創造工学部では、デザイン思考力強化のための科目としてチームワーキングの教育に力を入れることにしております。ここで展開するチームワーキングは、スタンフォード大学の Wilde 教授が進めている、Teamology をベースとしており、性格診断アンケートに基づき、多様な性格を有するチーム作りを通じて、自己理解、他者理解を深め、局面に応じてリーダーとなり、フォロワーとなることでプロジェクトの効率化をはかるものです。

今回は、そのベースとなる性格診断アンケートを実施し、自己理解を深めました。



杉本氏によるワークショップの様子

2. 今年度の活動予定

本年度も、香川大学工学部、香川大学社会連携・知的財産センター、ITC 団体（ITC 四国、ITC かがわ）や香川県情報サービス産業協議会、などの団体や他学会との交流を一層深め、幅広い方に研究会への参加を呼び掛け、新規会員の開拓に努めたいと考えています。

また、PM の基礎的な手法の研修に加えて、四国地域の活性化につながる実践的な取り組みを紹介することで、活動を一層活性化していきたいと考えています。

活動日程(予定)

2月8日：総会および年次研究大会
(株式会社 DynaxT)

6月、10月：四国支部研究会

その他：本部主催の春季、秋季研究発表大会への参加

四国支部お問い合わせ先

香川大学 工学部・大学院工学研究科

荒川研究室内 PM 学会四国支部事務局

〒760-8523 香川県高松市林町 2217-20

TEL&FAX 087-864-2223

Email:shikoku_ml@spm-hq.jp

HP:<https://www.spm-hq.jp/committee/shikoku/>

3. お礼

最後になりましたが、年次研究大会の運営に関し、本部の方々には、多大なご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。